

# 新宮高等学校（定時制）

実施日時	① 平成30年9月7日（金）、② 平成30年11月5日（月） ③ 平成30年12月20日（火）
参加者	生徒34名、教職員10名 計44名
実施内容	①火災発生を想定した避難訓練・消火訓練、煙体験と防災学習（津波からの避難についてのビデオ鑑賞） ②世界津波の日における、授業中の停電を想定した地震・津波避難訓練 ③防災用品と準備についてのビデオ鑑賞と炊き出し訓練

## 事前の取組

訓練①では、消防署と事前に打ち合わせの上、消火訓練、煙体験を全生徒に体験させた。  
訓練②では、停電を想定しての避難であったので、事前に暗闇の中での移動をシミュレーションさせるとともに、安全確保のための教員配置について十分な配慮をした。  
訓練③では、事前に生徒会役員生徒を招集して、湯沸かしと打ち合わせを行い円滑な運営に配慮した。

## 主なプログラム

訓練① 9月7日（金）

- 18:00 火災警報発令緊急放送「これは訓練です。校舎第3棟より出火しました。現在まだ火災は大きくなっていません。生徒諸君は担任の先生の指示に従って、すみやかに体育館前に避難してください。」  
生徒は担任の誘導で体育館前に避難する
- 18:30 消火訓練  
その場で消火器の使い方等について消防署の指導を受け、理解を深める
- 19:00 煙体験訓練  
全員1階多目的ホール前に集合  
懐中電灯を配布  
火災発生を想定し、煙を避けて避難する方法を学習する  
各学年、2人（3人）一組となって煙からの避難を体験する
- 19:30 消防署員からの講評と講話、津波からの避難についてのビデオ鑑賞

訓練② 11月5日（月）

- 18:00 緊急地震速報訓練放送・机の下等に

避難

- 18:10 教科担当の指示で避難開始  
（停電を想定して廊下・ベランダの電灯は消しておく）  
（避難の際、スマートフォンの電灯機能を利用するむね伝え、HRを消灯する 教科担当）  
3棟東側屋上に出て、整列、教科担当点呼、教頭先生に報告
- 18:30 多目的教室に集合、防災係より講話

訓練③ 12月20日（火）

- 18:00 多目的教室に集合、担任点呼の後、生徒会役員を中心に、アルファ米の炊き出し・配膳訓練  
最初に生徒会長が、アルファ米への湯の入れ方を説明して実演、その後全員で炊き出し訓練
- 18:20 防災ビデオ「【防災グッズ】本当に役立つ!!生き残るための備えをプロ中のプロに学んだ!」を鑑賞
- 18:50 各HRで感想文記入

## 参加者感想文

- ・防災グッズは、ふだんから持っていないと、いざというときにパニックになると思った。（四年男子）
- ・煙体験をしたとき、ライトがないとなにも見えないと思った。ライトを携帯したい。（一年男子）
- ・火災も津波も地震もいつどこで自分が何をしているときに起こるかわからないし、実際に体験してみたり、学んだりして、少しでも防災に対して身構えておいた方がよいと思った。（一年女子）

- 最近地震や水害が多いので、やはり授業などで学んで、災害に対する意識を改めなければならないと思った。(二年男子)
- よい勉強をしたと思います。自宅近くの避難場所を確認します。(二年女子)
- 防災グッズはそろえておいた方がいいと思った。(三年女子)

## 成果と課題

- 避難訓練は、おおむね迅速に行うことができた。  
しかし、夜間定時制であり、停電を想定した避難訓練は、今後も重ねて実施していく必要を感じる。
- 火災を想定した訓練を実施したことで、地震・津波以外の災害への意識を高められたことが感想文からうかがえた。
- 防災用品の備蓄の意識を、ビデオ鑑賞によって高められたことが感想文からうかがえた。



消防署員の説明を聞く



消火訓練



夜の校舎屋上への避難



非常食の炊き出し訓練